

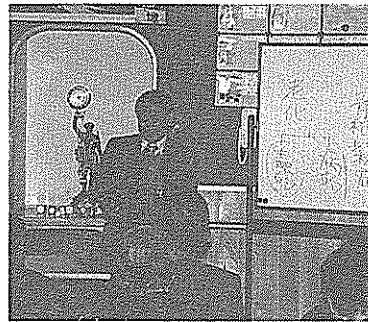
## デイサービスセンターで

# 家族介護者教室

家庭介護のあり方を考えようと、二月九日、デイ・サービスセンター「藤寿苑」(藤原一紫理事長)で、家族介護者教室が開かれました。

これは、高齢化社会が進行し、寝たきり老人などを抱える家庭が増えていることに対応し、センター利用者や、お年寄りを抱える家庭の皆さんを対象に「藤寿苑」が行ったもので、この日は約六十人が参加しました。高知医科大学老年病学の小澤利男教授が「老人の健康管理」と題して講演。充実した人生がいかに大切かを説きました。

## カメラリポート



今後、「藤寿苑」では、食事やストレス解消、ゆくゆくは実技講習なども含めた教室を二カ月に一回程度開いていくことにしています。

## 学校給食への 関心深まる 郵便局でロビー展

学校給食に関心を持ってもらうようと、二月十四日から十六日まで、市教育委員会が、南国郵便局で「給食ロビー展」を開催。給食パンの試食や給食の歴史の紹介、国府の浜野昌子さんと長岡の吉岡早代さんが入賞した県

の第二回米飯学校給食献立コンクールの入賞作品パネルの展示などが行われ、郵便局を訪れた主婦らの関心を集めていました。市教委では、平成元年度、二年度と、学連携事業の指定を受けて、国府小へのランチルームの設置、野外給食、みそ作り



などの給食環境の整備を行ってきました。その結果、二月に国府小が県の学校給食優良校の表彰を受けたり、一般の人に給食への理解が深まるなどの成果を上げています。このロビー展もその一環で開かれたもの。

また、来場者を対象に、給食用の食器の材質についてのアンケートを実施。それによると、家庭で使っている陶器に近い強化磁器のものが好評でしたが、現在使用している食器も「かわいらしい」ということで、支持を集めていました。

市教委では、この事業の成果を受けて、今後も学校給食の充実に努めていきたい考えです。文化財を火災から守ろう

## 『蛭の里』 黒滝の

### 自然を守ろう

私たちの手で「蛭の里」黒滝の自然を守っていきましょうと、一月二十一日、みんなではたるを守りましょう会(笠原清一会長、会員二千三百人)と南国市で黒滝橋北詰めに蛭保護を訴える大看板を取り付けました。

看板は縦一・八メートル、横二・七メートルで、枠組みには杉材を使用。取り付けには会員等十五人がかりで約三時間をかけた労作です。笠原会長は「蛭を守る運動が地域社会を良くしようというきっかけになれば」と話していました。

## 国分寺で

### 消火訓練

文化財防火デーの一月二十六日、国分寺で消防団員らが消火訓練を行いました。国分寺は金堂や仏像が重要文化財などに指定されており、本堂前の東西に置かれた放水銃の訓練も真剣そのもの。放水テストの後は、消火器の点検と消火訓練を一人ずつ実践しました。

# 春よこい。。

## 国分川で芝焼き

北風の強い二月十七日、国分川一帯で恒例の「芝焼き」が行われ、久礼田、国府、岡豊の衛生委員さんなど七百人が参加しました。

これは、「国分川をきれいにする会(門田理博会長)」の呼びかけで毎年行われているもの。きれいにする会は、国分川にゴミを放流するなど、日ごろから国

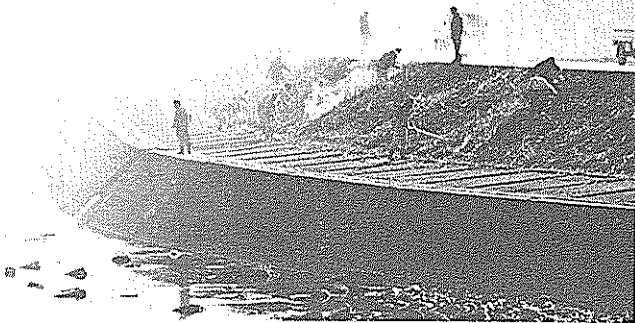
分川の浄化に努めています。

午前十時、合図の煙火で兩岸の枯れ草に火がつけられると、最近の護岸工事で昔ほどの草の量は少ないものの、あたりは低気圧がもたらした強風にあおられ、冬の別れともいえる紫煙に包まれました。

焼け跡の岸には、空き缶や空き瓶が参加者も驚くほど多く捨てられ、一部の場所ではごみ捨て場のよう。ごみの量は二ト車で約八台分もありました。

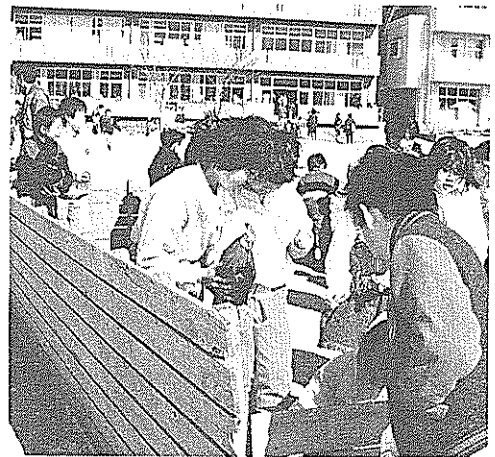
清掃は昼過ぎで終わり、食生活改善クループの婦人らが用意した大金の「七草がゆ」に舌鼓を打って、春を呼ぶ風物詩「芝焼き」を終えました。参加者は、きれいな南国市を守るにはみんなの協力が必要という思いを強くしたようでした。

## カメラリポート



## 堀内佳さんを招いて ふれあいコンサート

～大湊小学校～



## 大篠小で

## ふれあい文化祭

二月十七日、大篠小学校で同校のPTA主催による「ふれあい文化祭」が開かれました。今年はいよいよ五回目を記念して、老人クラブとの交流や釣り堀、もち投げなど盛りだくさんの催し。日曜日とあって、終日大勢の児童や保護者でにぎわい、参加者はミニ動物園やキーホルダーづくりなどを楽しんでいました。

一月二十七日、大湊小学校で、歌手の堀内佳さんを招いて「親子ふれあいコンサート」が開かれました。



これは、家庭教育学級の一環として、同校PTAが開催したものです。堀内さんは、全盲というハンディにもくじけず、はり師のかたわら、コンサートなど活発な活動を続けており、萩野芳郎PTA会長は「障害を乗り越え、活躍している堀内さんの生き方を通して、自分の生き方を考えてもらえれば」と話していました。

集まった百五十人余りの皆さんは、堀内さんの独特の語り口と体育館いっばいに響き渡る歌声を「ちびまるこちゃん」などの知っている歌には手拍子も交えながら、楽しんでいました。